

内痔核の手術を受けられる

説明医師

P1/2

説明看護師(外来)

様へ

看護師(病棟)

月日	月 日	月 日	月 日	月 日	
経過	治療前日 (入院日)	当日術前	当日術後	術後1日目	術後2日目 (退院日)
目標	心身ともに安定した状態で手術を受けられる 治療に対する不安を表出できる		術後合併症を起こさない 出血がない		出血がない 退院後の生活に不安がない
検査	身長、体重測定			採血	
食事	※朝食はご自宅で(いつも通りの形態) ・入院後流動食 ・21時以後絶飲食 ・経口補水液は、麻酔科の指示で服用		帰室 4 時間後より水分開始	昼より 常食再開	退院日は朝食のみ
	※				
処置・観察	リストバンドを装着します (退院日まで)	朝 洗腸します 時間になれば看護師が手術室にご案内します	手術後以下の挿入物、装着物があります ・酸素 → 手術 4 時間後に取り外します ・心電図モニター → 取り外します ・点滴の管 → 取り外します ・尿道カテーテル → 取り外し、排尿を確認します 創部を観察、処置を行います		退院時にリストバンドを外します
	状況に合わせて、体温・脈拍・血圧・酸素飽和度を測ります				
注射・内服	持参薬、お薬手帳を看護師にお渡しください 眠前に下剤を服用します	手術室で点滴を開始します (手術が午後の場合、病棟で点滴を開始します)	以下の点滴を行います ・持続点滴 → ・抗菌薬 →	以下の服用があります ・緩下剤 → ・鎮痛剤 → 痔の軟膏を塗布します → 退院後も継続します	
	行動・リハビリ	シャワー浴 洗髪をします 制限はありません	以下の手術準備をします ・手術着に着替え ・弾性ストッキング装着 ・入れ歯、アクセサリー、時計等の取り外し 翌朝までベッド上安静です	午前中 全身清拭し、手術着からパジャマに着替えます 歩行を開始します 尿道カテーテル抜去後はトイレで排尿できます	(退院日) 朝食後退院です
説明	医師・麻酔科医より説明(外来又は入院時) ・治療計画について ・手術について ・麻酔について 病棟・手術室看護師より説明 ・入院生活について(パスシートを使用) ・手術について 薬剤師より説明 ・持参薬確認 ・使用薬剤について		医師より説明 ・手術結果について 看護師より説明 ・術後の注意点について ・安静について ・下肢運動について		医師より説明 ・退院後の治療計画、療養上の留意点について 看護師より説明 ・退院後の療養生活について(退院療養計画書をお渡しします)
	看護師より説明 ・軟膏の使用方法について				

* 入院に際して、この用紙を必ずお持ちください 08-K64-1 2023. 3. 24 版 京都第一赤十字病院
 * 入院時に栄養状態を評価して栄養管理計画を立てます。定期的に栄養状態の再評価を行い計画を見直します。
 * この表はおよその経過をお知らせしたものです。種々の都合により、予定通りではないこともあります。

